

VJ 安全衛生方針

事故防止と安全衛生に関するコミットメント

2017年10月

ヴェオリアは水、廃棄物、およびエネルギー事業における世界のリーダー企業です。ヴェオリアの目標は、「責任」を含むヴェオリアの価値観に基づき、持続可能な成長のベンチマーク（標準）となることです。「責任」とは、**事業の中心に人を置くこと**を意味し、**それゆえ職場での安全衛生は常に私たちの最優先事項でなくてはなりません。**

安全作業の遂行（日本の全ての安全法規およびヴェオリアの要求事項の順守）は、場所、状況、作業内容にかかわらず、ヴェオリア・ジャパンのあらゆる業務に適用され、第三者、および当社以外の会社（顧客、訪問者、委託会社、納入業者、その他利害関係者）に影響が及ぶ業務も含まれます。

ヴェオリアの取り組みは、「5本の柱」に基づき構成されています：

・マネージャー全員の関与

基本的な予防手順（ルール）を定め、そのルールを適用し、全従業員に確実に守らせませす。この実現には、各マネージャーが模範的行動を取ることが必要です。

・全従業員の研修と関与

各業務に伴うリスクを認識し、リスクを積極的に特定し、職場でのリスク低減対策を進め、安全を高めるための提案を行うよう奨励します。

・コミュニケーションと対話の促進

事業本部間、および地域間で安全対策を共有し、お互いから学び合うよう、経験の共有とシナジーの向上を推進します。

・リスク管理の改善

労働安全衛生マネジメントシステムの活用により、当社の事業活動に特有なリスクを特定・評価し、最小限（受容可能なレベル）にとどめます。

・安全衛生パフォーマンスの監視

特定の指標（KPI）を用い、また監査・自己評価制度（セルフアセスメント）の強化により実現します。

全ての従業員は、常にあらゆる安全対策を順守する責任を負っています。全従業員は、自分自身、および周囲の人々の危険状況を回避する行動を取らなければなりません。

安全はマネジメントの責任であり、チーム全員の安全衛生を確保するために必要な対策を確実に講じる責務を負っています。各マネージャーが、それぞれの責任下にある実務レベルを含むあらゆる階層で、当社の予防措置を講じるよう求めます。また本要求事項は、各自の年次評価における極めて重要な評価項目とします。

当社の従業員は全員、従事する業務内容を問わず、等しい意欲と注意力をもって安全な行動を取る義務を負っています。また、いかなるマネージャーも、安全よりもコスト削減、オペレーション、売上、または利益を優先させてはなりません。この指示に背くいかなる行動も容認されません。

私たちは常に同僚、顧客、協力会社、および一般市民から注目されており、その意識に基づき行動を取る必要があります。自分の身を自分で守ると同時に、周囲の安全衛生も確保しましょう。



ヴェオリア・ジャパン株式会社 代表取締役社長
野田由美子